

平成18年度伊丹市行政評価～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131501		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。												
事務事業名	知的障害者援護施設運営補助事業							担当部局・課	健康福祉部 障害福祉課			評価結果 B 上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。			
事業内容	福祉施設用地として、県有地（鴻池字南畑ケ1ー2他 元若草学園跡地）の借上げ及び福祉施設の民営化に伴い、社会福祉法人協同の苑に関する運営補助金として、知的障害（重度者）に伴う人員加配・利用者送迎にかかる実費補助を行う。							事業開始(予定)年度							
								平成16年度							
								事業終了(予定)年度							
			—												
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	障害者の日中活動の場・働く場への支援												
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的	民間社会福祉施設への補助により、効果的・効率的な障害福祉行政の推進を図る。							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 民生費 (項) 障害福祉費 (事項) 地域福祉対策費 (目) 障害福祉総務費						
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)							
	事業費	13,448千円	財源内訳					事業費	13,949千円	財源内訳					
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—			
			市 債		—					市 債		—			
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—			
			一般財源(市税等)		13,448千円					一般財源(市税等)		13,949千円			
	投入人員	0.04人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.04人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					
	人件費	343千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	343千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					
経費合計	13,791千円						経費合計	14,292千円							
活動指標	指標名(単位)		指標なし						計画と実績	年度		H17年度	H18年度		
	意味・算式等									区分	計画値	—	—		
										実績値	—				